



博多あんの通信

発行元
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会
連絡先
〒812-0882
福岡市博多区麦野5丁目22番6-505号
代表幹事 小森 勝輝

2018年(平成30年)

1月1日号
<No.33>

研修会・懇親会

今年度第2回目の研修会が、平成29年12月10日あすみんで開催されました。講師には昨年に引き続き福岡大学工学建築工学科の古賀一八教授をお招きし「防火、防犯について」と題して講演をいただきました。会場としてあすみん会議室2部屋ぶち抜きで使用しましたが、64名の会員諸氏が聴講され立錫の余地がないほどの好評でした。

講演の内容は火災の原因トップである放火犯の好きな家(放火されやすい家)とはどのような家か、ということをお①監視の目が届かない家、②燃やしやすいものが手近にある、③火をつけてもすぐに消されない地域など、具体例を示しながら説明され、聴衆も納得している様子でした。さらに放火されない様にするには「放火魔の気持ちになって自宅周辺を点検する」など、発想の転換が必要とのことでした。

更に「真の防犯」では、クライシス管理(犯罪に遭遇した時の対処法)とリスク管理(犯罪に合わない様にする方法)について具体例を挙げながらユーモラスに講演いただきました。「防火、防犯」は災害時における行動にも相通じるものがあり会員諸氏も「防災」に対する考え方を異なる観点で見ると必要があると気づかされたようです。

講演終了後、44名の参加者を得て頤和園にて忘年会を開催しました。開始当初は支部ごとにテーブルが分かれて着席していましたが、宴が進むにつれ席を移動して会員相互に話が盛り上がり、特に古賀先生を囲んだテーブルでは先生の軽妙な話術により、より一層盛り上がっていました。

(研修部会 正本 博士)



新入会員(13期生)が入会されました 13期生の声

「自己紹介と活動への心意気について」

市内の企業で防災関係の業務に従事しています。会社の防災能力向上だけでなく、あんあんリーダー会の活動を通じて、地域の防災力向上のお役に立てるよう、会の先輩方にご指導いただきながら頑張っていきますので、よろしくお願いします。

早良支部 13期生 江口 洋之(えぐち ひろゆき)

避難所サポートチーム・福岡(1期生)養成講座

講師陣が九州北部豪雨後の被災地支援に回られたため、のびのびになっていた2回目の講習が、昨年12月17日(日)開催されました。

各講師から被災地での活動の話があり、その後プチ避難所体験、避難所で我々がどんな支援・応援ができるか、安心・安全な生活、情報の伝達・共有、食事の提供方法等の面からグループ討議・発表を行った後、閉講式がおこなわれ20名でのチームが発足しました。今後福岡市の要請があれば、被災地避難所への派遣があるかもしれません。

間もなく2期生の講座が予定されています。奮って受講してください。(西支部 東島 弘)



子どもたちの防災

中学生防災力アップ 玄洋中

平成29年9月14日、「中学生防災力アップ事業」として、福岡市西区の玄洋中学校でDIGを行いました。福岡市防災危機管理課からの依頼で対象は玄洋中学校一年生4クラス291名です。普段「西のことは西で」をモットーとしている西支部ですが、今回ほどの大人数に加え平日の日中という条件ではさすがに厳しく、西支部6名(東島、江崎、正本、赤瀬、中島、竹尾)に他支部からの応援8名を加えた総勢14人での対応となりました。

テーマは「地震、西方沖以上の揺れそのときどうする」です。私たちメンバーにとっては、実際に体験をし、DIGを何度もしていますが、中学一年生はほぼ12歳。西方沖地震の時には記憶どころかよちよち歩きです。西方沖地震の画面をもとに玄洋校区の当時の状況を含めた紹介、阪神大震災、東日本大震災、そして熊本地震と画像を交えながら災害の恐ろしさを説明後、DIGに進みました。メインファシリは、第一部が平山さん、第二部を竹尾が担当しました。

生徒たちは、地域ごとに分かれ、自身の町内地図を囲んでの対応です。各テーブルファシリは全くと言っていいほど土地勘がない中、地図からの読み取りを行いつつ、生徒たちと一緒に地域の強み弱みなどの特徴をピックアップ。そのあとの発表につなげていました。

難しい年頃を迎えている子もいて、乗り気でない様子もまま見受けられましたが、DIGを進めるにつれみな真剣さをまし、最後はきちんと発表をしてくれたことが印象に残りました。子供達世代への活動が地域の将来にとってとても大事であることをあらためて教えてくれた有意義な活動となりました。

(西支部 竹尾 宗二)



九州大学医学部保健学科看護学専攻の学生とHUG~出前講座~

11月29日に九大で学生20名とHUGを実施しました。一昨年の熊本地震に続いて昨年7月には九州北部豪雨が発生し、身近な地域で大災害が続けて発生したことを踏まえて、今後も私たちはいつどこで大災害に直面するか分からないとの認識を共有してスタートしました。

ゲームの中では、避難者が抱える個別の状況に対して救護所や授乳場所の設置を検討するなど看護学専攻の学生らしい対応も含め、トイレやペット問題も活発な議論になり、避難所開設期における被災者受け入れの難しさを理解していただけたと思います。

まとめでは、「災害関連死を出さない」ことを避難所運営期の目標として、エコノミークラス症候群対策(血栓症)やノロウイルスなどの感染症対策を進めていることを説明し、学生の皆さんが学んできたことや今後経験することを災害時において、それぞれの状況と立場の中で被災者対応に活かしていただくことをお願いして終了しました。

(城南支部 浦野 正幸)



防災フェア in 平尾の取り組み～中央区平尾～

平尾校区の防災への取り組みは、以前は校区団体ごとでしたが、校区男女協会長でリーダー会中央支部会員でもあるI氏が中心となり、「自助」をテーマに「防災フェスタ in 平尾」をスタートさせ、今年で3年目となりました。

11月11日に中央区役所をはじめ、消防署、高宮分団、日本乾溜工業、コミュニティワン社の協力を得て開催されました。毎回、開催月・対象年代・内容・手法が工夫されており、今回はマンション被害状況写真、簡易トイレ、日常の備え、警報の種類と避難タイムテーブルなどのブースが設置され、地域住民との熱心な意見交換が行われました。



中央支部は第1回から参加・協力していますが、平尾校区の今後の取り組みに大いに期待しています。
(中央支部 坂井 正司)

マンション防災～南区長丘～

平成29年10月29日(日)南区長丘1丁目のマンションにおいて防災訓練が行われました。参加者はマンションの住人39人、リーダー会からメイン講師の松岡氏を含め6人、近隣校区の防災会関係者の見学もありました。

通常の訓練と違い、住人には開始時間を知らせず10:00～10:30の間とのみ連絡し、開始の合図とともに参加者が非常階段等からホールに集合。順番に家族・個人の名前、避難に掛る所要時間を計測、非常ベルの聴聞具合の確認が行われました。

ライフラインがストップした想定のため、階下に降りられない方への対策として、階段対応イス(Best-Chair)と救助担架(フレスト)の説明と使用体験があり、女性に搬送体験をしていただきましたが、少人数で搬送可能であり緊急時には男性不在でも対応出来る事が解りました。また担架は垂直避難も可能な為、水害時にも役立ちそうです。その後の防災講座も老若男女、幅広い年齢層の方々が参加され、マンションだからこそその避難の仕方・在宅避難への関心度の高さがうかがわれました。

マンション防災はこれからの防災講座において必要な講座だと思います。少しずつスキルを上げて、もっと多くの方々に広められる講座になれば良いと思います。
(南支部 菅原 佳子)



大浜地区 避難訓練

平成29年11月23日(木)大浜地区合同防災訓練に参加しました。訓練想定は『緊急避難所開設から避難所運営実践』。6地区の町内会からの参加で400名程。

リーダー会5名の担当は、段ボールでベッドや住居(福祉避難)スペースの作り方指導、簡易トイレの使用法の説明など。参加者は、熱心に一生懸命作ったベッドに寝て、寝心地の体験をしていただきました。非常に良いとの事で感心されておりました。

そして大浜校区には、仮設マンホールトイレが設置できるよう4か所準備されております(福岡市で29箇所)。使用後は、水を流す必要がありますが、水の確保やどうやって水を流すかなど、事前に検討しておく必要が有るな！と感じました。
(博多支部 坂之下 照雄)



防災ボランティア

12月23日に西原村と朝倉市へ二班に分かれ、15名で災害復旧支援に行きました。支援団体の拠点がある寒水地区では、ダンプカーが列をなして上流の現場へ向かっており、まだまだ土砂やがれきの撤去作業の段階なのかと推察されました。実際に支援に向かった先でも護岸用に土嚢が積んであるだけで、巨岩や土砂に埋もれた堆積物は放置され、まだまだ土砂が積もったままでした。



今回、朝倉の地元の人達の復興拠点である地元復興支援ベース「ひまわり」を知り、次回からの支援の足固めが出来ました。今後の西原村復興支援も含め、復興に向かう縁の下の支えを少しでも担えればと思います。
(東支部 城下 邦芳)

Jアラート(ミサイル対応訓練)

12月1日午前10時、「北朝鮮からミサイルが発射された」との緊急速報メールが携帯に届き、天神中央公園で散歩していた市民(リーダー会10名も紛れている)が急いで地下街に逃げ込むという訓練に参加しました。身近に隠れ場所があればいいのですが、周りにそれが無い場合が心配です。ぜひ訓練だけであってほしいものです。
(西支部 東島 弘)

トピックス ～これからの活動にご興味がある方は事務局までご連絡ください～

*各種講座活動結果(12月末現在)

- <出前講座> 実施講座数 30回(3回増) 参加者 159名 参加人数 932名
- <地域活動アドバイザー> 実施講座数 45回(16回増) 参加者 207名 参加人数 2886名
- <防災教育アドバイザー> 実施講座数 7回(0回増) 参加者 16名 参加人数 1986名
- <単独事業> 実施講座数 16回(5回減) 参加者 120名 参加人数 5706名

*研修会 12月10日(土) 講師:福岡大学建築工学科 教授 古賀一八先生

テーマ:地震・台風・豪雨などの避けられない事前事象や火災を「災害」としないために!

*「避難所サポートチーム福岡」養成講座 1期修了生 20名

*「避難所サポートチーム福岡」養成講座 2期日程 2/17,3/17

*福岡市消防出初式 1月6日(土) 会場 マリンメッセ福岡 会員35名 隊列行進参加

*リーダー会会員研修(13期生) 2月25日(土) 10:00～12:00 県ボランティアセンター

*第5回あんぜん・あんしんフェア 3月5日(日) イオン香椎浜

*第7回みんなで防災 3月18日(日) 新天町サンロード

*平成30年度定期総会

日時 5月20日(日) 14:00～17:00

場所 福岡市NPO・ボランティア交流センター セミナールーム

(事務局長 平山 光典)

編集後記

皆様のご協力をいただきまして、年明け第一号の会報誌の発行を行うことができました。今後も皆様に興味を持っていただける会報づくりを目指して参ります。掲載記事に関してのご要望、ご提案等がございましたら、所属支部の広報部員にご連絡下さい。

(広報部長 松本 一郎)

